

臨床研究に関する情報公開について

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名：生殖補助医療における多胎妊娠の周産期予後から複数胚移植を望む不妊患者への対応を考える

研究責任者： 村林 奈緒

研究目的と意義： 生殖補助医療（ART）が保険適用となったが胚移植回数制限、余剰胚があると次回採卵ができないことから複数胚移植を希望する患者が増える傾向にある。複数胚移植は「多胎妊娠防止のための移植胚数ガイドライン」に基づき、35歳以上または反復着床不全症例に限られるが、適応症例でも子宮術後などの背景因子から勧められない場合がある。しかし、患者の要望が強く対応に苦慮することも多い。今回、情報提供の一助とするためART多胎症例の周産期予後および移植方法との関連を検討した。

研究方法： 2015年3月–2022年9月に胚移植を行い分娩に至った症例について、単胎と多胎の周産期予後比較および胚移植方法との関連を検討した。複数胚移植はガイドラインに基づき実施条件を満たし、症例ごとに十分に考慮した上で行った。

対象となる患者様： 2015年3月–2022年9月に当院で胚移植を行った方。

発表学会（日時）： 第61回日本周産期・新生児学会学術集会（2025年7月13日～15日）

個人情報取り扱い： 本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2025年6月13日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

研究番号： 2025 — 0001

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 tawara-ivf@i.softbank.jp

以上